

金太郎伝説をたどるコース

箱根ジオパーク ガイド 6



足柄峠から観る富士火山と箱根の山々





箱根ジオパークとは

Hakone Geopark

ジオパークとは地球活動の遺産を主な見どころとする自然の中の公園です。ユネスコの支援により設立された世界ジオパークネットワークにより、世界各国で推進されています。箱根火山は、世界的に見てもたいへん有名な火山です。豊かな自然と密接した歴史があることから、まさにジオパークに相応しい地域と言えます。

この地域の特徴は、伊豆・小笠原弧が本州弧に衝突したプレートの境界域に位置することと、その中心である箱根火山が、南北にのびる天然の障壁をなしていることです。箱根火山は、その北に連なる足柄山地・丹沢山地をはじめとする*フォッサマグナ地域と、その南に連なる伊豆半島から伊豆・小笠原諸島の自然をつなぐみに位置します。

北と南をつなぐ自然のみち



東と西をつなぐ歴史のみち



日本の歴史を形作ってきた足柄道や東海道は、東西を結ぶ大動脈です。そして、戦国時代的小田原城や石垣山一夜城、中世から始まり江戸時代に隆盛を迎えた石材採掘、江戸時代の箱根関所跡などは、かつてあった東西の摩擦や緊張を今に伝えています。まさに本地域は、古代からの日本の東と西の文化をつなぐ歴史のみちに位置するのです。

※日本の主要な地溝帯の一つで、地質学においては東北日本と西南日本の境目となる地帯。

箱根ジオパークを歩こう

金太郎伝説をたどるコース

- 3 … コース案内
- 4 … 箱根火山の自然と歴史のあゆみ
- 6 … コースマップ
- 8 … 南足柄市の成り立ち
- 9 … ① 足柄万葉公園
- 10 … ② 足柄明神 / ③ 足柄峠（足柄城址）
- 11 … ④ 足柄古道 / ⑤ 地藏堂
- 12 … ⑥ 金太郎遊び石 / 蛤沢周辺
- 13 … ⑦ 足柄層群の露頭 / ⑧ 夕日の滝
- 14 … 本コースに含まれない他のジオサイト
- 15 … 立ち寄りスポット

ぶらっと箱根ジオパーク

コース案内

箱根火山は、約 40 万年前から活動を始めましたが、それ以前は伊豆半島の基になった火山島の一部でした。それがプレートの活動により北上し、およそ 100 万年前に本州に衝突しました。現在の南足柄市がある地域は、伊豆半島と本州の間の海に堆積した地層である「足柄層群」が、プレートの圧力により隆起し、陸地になった場所です。その後活動を始めた箱根火山や富士火山の噴出物が、その上を覆っています。

2016 年に南足柄市が箱根ジオパークへ編入したことにより、箱根火山より古い地層である足柄層群が観察できる地藏堂地区などのジオサイトが新たに加わりました。

このコースは、プレートの動きや火山の活動によるダイナミックな大地の動きを体感できるだけでなく、東海道よりも古くからの官道であった「足柄道」や、小田原北条氏の支城があった「足柄峠」、そして現代まで伝わる金太郎伝説といった歴史や文化を学ぶこともできます。



箱根ジオパークマスコットキャラクター
「はこじ郎」

箱根ジオパークエリアの多くは、富士箱根伊豆国立公園、神奈川県立自然公園、神奈川県自然環境保全地域になっています。先人が守ってきた地域の財産が、箱根ジオパークの魅力です。この魅力を未来の人も楽しめるような行動をお願いします。

箱根火山の自然と歴史のあゆみ



400 万年前頃	250 〜100 万年前頃	115 万年前頃	100 万年前頃	40 〜35 万年前頃	35 〜27 万年前頃	27 〜23 万年前頃	23 〜13 万年前頃	13 〜8 万年前頃	6.6 万年前頃	6 万年前頃	4 万年前頃	5500 年前頃	3000 年前頃	3000 〜2900 年前頃	2900 年前頃	2000 年前頃	757 年(天平 宝字元年)	759 年(天平 宝字3年)	平安期 (詳細不明)	940 年(天慶 3年)	1180 年(治承 4年)	1300 年(正安 2年)	1394 年(応永 元年)	1417 年(応永 24年)	1504 年(永正 元年)頃	1496 年(明応 5年)〜	1590 年(天正 18年)	1600 年初頭	1619 年(元和 5年)	1680 年(延宝 8年)	1707 年(宝永 4年)	1726 年(享保 11年)	1887 年(明治 20年)	1888 年(明治 21年)	1900 年(明治 33年)	1904 年(明治 37年)	1923 年(大正 12年)	1925 年(大正 14年)	1934 年(昭和 9年)	2012 年(平成 24年)	2014 年(平成 26年)	2015 年(平成 27年)	2016 年(平成 28年)
-------------	---------------------	-------------	-------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------	-----------	-----------	-------------	-------------	----------------------	-------------	-------------	----------------------	----------------------	---------------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

南足柄市が箱根ジオパークに編入
大涌谷で小規模な水蒸気噴火
箱根ジオミュージアム開館
箱根ジオパーク誕生
丹那トンネル開通で東海道線湯河原へ
大雄山線開通
関東大震災
宮ノ下〜芦之湯〜箱根町間 車道開通
国府津〜箱根湯本間に電車開通（小田原電気鉄道）
新橋〜国府津間鉄道開通
ドイツ人医師ベルツ、大涌谷に温泉治療所の建設を提案
塔之沢宮ノ下間車道開通
田中丘隅、酒匂川の治水を行う、堤に文命宮（現福澤神社）創建
富士山噴火
東海道「箱根八里」に石畳が敷かれる
箱根関所開設
早川石丁場群で採石
大久保忠世、小田原城主となる 小田原城改修
豊臣秀吉、小田原攻め 石垣山一夜城築城
北条早雲、小田原攻め 小田原城を支配下に置く
大森氏が小田原周辺を領地とする
大雄山最乗寺 創建
精進池畔の磨崖仏・六道地蔵の開眼供養
源頼朝、石橋山の合戦で敗れる
足柄峠に足柄明神創建
御嶽神社創建
万葉集編纂 足柄にかかわる短歌・長歌が20首近く掲載
箱根神社社殿建立（万巻上人）
神山水蒸気爆発
箱根火山最後の大規模噴火、冠ヶ岳の形成
富士山で岩屑なだれ発生、泥流が足柄平野まで流れる
神山山体崩壊、芦ノ湖誕生
羽根尾貝塚の形成
後期中央火口丘の形成と仙石原湖誕生
先神山の形成（神山のものになった山）
東京軽石をもたらした爆発的噴火
鷹巣山溶岩、屏風山溶岩などの前期中央火口丘の形成
カルデラと外輪山の形成、大規模噴火と真鶴溶岩、幕山溶岩などの噴出
明神ヶ岳、米神溶岩などの箱根成層火山群、独立単成火山群の形成
金時山、明星ヶ岳などの箱根成層火山群の形成
箱根火山の活動のはじまり（天昭山溶岩、畑宿溶岩など）
伊豆半島衝突
矢倉岳のものととなるマグマが貫入
足柄層群堆積
箱根火山の基盤岩（早川凝灰角礫岩）の形成



早川石丁場群

は、このガイドパンフのコースで見ることができます。



1 南足柄市の成り立ち

— 伊豆の衝突 —

地球の表面は、十数枚のプレートと呼ばれる岩盤からできていて、それぞれが別々の方向に少しずつ動いています。これらが衝突し、隆起することにより山ができたり、一方が沈み込むことで海溝ができるといった大地の変動が起きます。

箱根ジオパークのエリアは、伊豆半島の基になった火山島の一部として、現在よりも南の海にありました。この火山島は「伊豆地塊」と呼ばれ、フィリピン海プレートの活動により、少しずつ北に動いていました。今から200万年ほど前には本州に近付き、伊豆と本州の間には陸地から流れこんだ礫や砂、泥などが堆積して、「足柄層群」と呼ばれる地層ができました。海が堆積物によって埋め立てられたために、およそ100万年前には本州と伊豆が地続きになりました。その後もプレートの運動によってこの地域は隆起し、「足柄山地」が誕生しました。

ジオサイト Mi 4「蛤沢周辺」は地蔵堂地区の山中で、かつて海だった場所が隆起したことにより、ハマグリなどの化石が見つかった場所です。

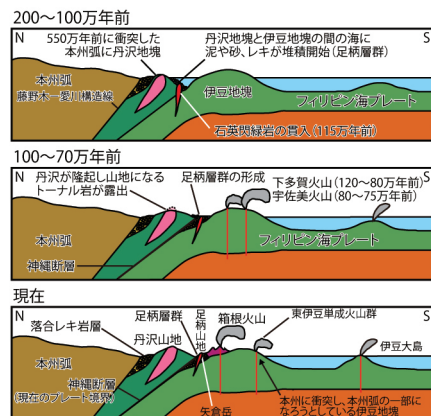
また、「矢倉岳」は、およそ115万年前に足柄層群の中へ貫入したマグマが地下深くで冷え固まってできた深成岩で、プレートの運動により隆起し、侵食されたことにより現在の形になりました。

2 箱根火山の活動

— 足柄層群の隆起 —



地質図は日本地質学会国立公園地質リーフレット「箱根火山」を引用、加筆



箱根火山は約40万年前から活動を始め、足柄層群の上を溶岩や火山灰などの火山噴出物が覆いました。地蔵堂地区周辺では、およそ40万年前から30万年前に噴出した金時山を構成している溶岩（金時山溶岩）や、さらに金時山の下にある溶岩（狩川溶岩）といった、箱根火山でも比較的古い溶岩が観察できます。

1-1 足柄万葉公園

大雄山駅からスタート地点である足柄万葉公園へタクシー等で向かいます。

万葉公園は、万葉集に「足柄」に関わる歌が、20首近くあることから、万葉集を解説する歌碑を設置しています。東国から「防人」（九州の防衛のために派遣された人）として西国に向かう際に、東西の境界である足柄峠で故郷や家族との別れを詠んだ歌碑が7つあります。

1-2 足柄万葉公園からの眺め

駐車場付近から見ると、東側にジオサイト Mi2「矢倉岳」が望めます。

矢倉岳の山頂部は、深成岩という硬い岩でできています。約115万年前、海底に堆積していた足柄層群内に貫入したマグマが地下深くで冷え固まったものです。

その後、プレートの運動によって隆起し侵食されたことで現在の矢倉岳の形になりました。

地下深くにてゆっくり冷え固まる深成岩としては極めて若く、約115万年前で現在の標高870mまで隆起している例は、世界的にも非常にまれです。それだけこの地域のプレート運動が激しかったことを物語っています。

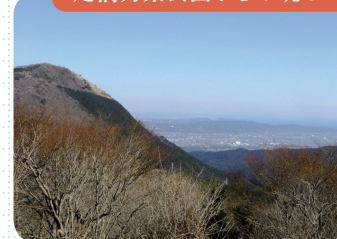
万葉公園からは矢倉岳に登ることができます。途中の登山道付近に巨大な岩石がありますが、これは狩川溶岩と呼ばれる約40万年前の箱根火山の溶岩です。近くの足柄峠は約35万年前の金時山溶岩に覆われていますが、より標高が高いところに古い時代の溶岩があるのは、プレートの運動によりこの一帯が隆起しているからです。

万葉公園



足柄の御坂に立して袖振らば
家なる妹は清にみもかも
（※妹＝妻）

足柄万葉公園からの眺め



石英閃緑岩



※矢倉岳の深成岩はごま塩のような模様が特徴で、石英閃緑岩と呼ばれています。

狩川溶岩



足柄明神



※スコリアとは、火山噴出物の一種で多孔質で暗色のものをいいます。

足柄明神からの眺め



遠く神山（左）の山腹に大涌谷が見えます。手前右は金時山。

足柄城址



足柄峠からの眺め



2-1 足柄明神

古事記には、倭健命（日本武尊）が東征の際に、白い鹿に姿を変えた「坂の神・足柄明神」を倒したと伝えられています。また妻の弟橘比売命（弟橘媛）を亡くしたことから、この地で「吾妻はや!」（我が妻よ!）と叫んだことが「あづま」（東）の語源になったと伝わっています。

このあたりは小田原北条氏の支城である足柄城の一部で、明神曲輪と呼ばれます。入り口の鳥居近くには、1707年の富士火山の宝永噴火によって飛ばされてきたスコリアが露出しています。

2-2 足柄明神からの眺め

南側には箱根火山の外輪山である明神ヶ岳と金時山が見え、その奥に中央火口丘にある大涌谷の噴気を見ることができます。東側には矢倉岳、その先に大磯丘陵や相模湾を望めます。東側にはジオサイト Mi2「矢倉岳」、遠くの足柄平野の先には相模湾や、大磯丘陵を望むことができます。その辺りには国府津—松田断層があり、北米プレートとフィリピン海プレートの境界は、足柄平野の下にあると考えられています。

3-1 足柄峠（足柄城址）ジオサイト Mi 1

小田原北条氏の支城の一つだった足柄城があった場所で、武田、豊臣に対する防衛の要衝でした。豊臣の小田原攻めの際には、徳川軍の攻撃を受け、戦わずして放棄されました。

下の駐車場にある笛吹塚は、平安時代、笙の名人、源義光（新羅三郎義光）が戦に向かう途中、豊原時秋に笙の秘曲を伝授したと伝わる場所です。

3-2 足柄峠からの眺め

富士山が裾野までよく見え、愛鷹山、箱根火山と続く山々の比較ができます。

左手には箱根外輪山の一つである金時山（1212m）が見えます。金時山はこの足柄峠から尾根でつながっており、ここを経由して金時山登山を楽しむ人が多く見られます。

4 足柄道（足柄古道）ジオサイト Mi 1

足柄峠のトイレがある広場の向かい側から、足柄古道に入ります。

所々でつづら折りの県道と交差しながら通っており、東海道よりも古くから「官道」として使われていました。「更科日記」には作者「菅原孝標女」が京都に帰る際に通った足柄山の描写があります。

平安時代の富士山の延暦大噴火により足柄道が通行不能となると迂回路として箱根を通る街道の箱根ルートが整備され、一時的に利用されました。箱根ルートが良く使われるようになるのは、鎌倉時代以降です。

江戸時代以降は、一般的に東海道が利用され、足柄道は主に物資の運搬に使われました。足柄道の方が勾配は緩やかです。矢倉沢に関所がありましたが、箱根関所ほど厳しくありませんでした。

足柄道は時代によりルートが変わり、江戸時代以降は矢倉沢往還として使われ、富士講、大山講などの参拝客で賑わいました。

5 地藏堂

地藏堂には、足柄地藏尊が祀られています。ご本尊は鎌倉時代の製作と言われる木造地藏菩薩立像で、入母屋作りの厨子と共に県の重要文化財に指定されています。秘仏でご開帳は60年に一度とされています。

ちょっと寄り道 万葉うどん

夕日の滝近くの湧水を浄水し、こね上げた麺と、自然の素材を贅沢に使った旨いだしでいただく手打ちうどんは絶品です。

足柄古道



地藏堂



万葉うどん



金太郎遊び石



歌川芳虎 坂田金時



所蔵 南足柄市郷土資料館

ハマグリ化石



所蔵 南足柄市郷土資料館

6-1 金太郎遊び石

地藏堂には金太郎伝説があり、近くに生家跡^{やえざり}があります。この家の主、四万長者の娘「八重桐」が嫁ぎ先から戻って、金太郎を生み、夕日の滝で産湯をつかったと言われています。金太郎は成人した後、足柄峠を通った源頼光に力量を認められ家来になります。坂田金時^{さかたのきんとき}と改名して京へ上り、頼光の四天王の一人となって酒呑童子^{しゅてんどうじ}を退治しました。

生家跡そばに金太郎が投げたと伝わる遊び石があります。遊び石を観察すると、ゴツゴツした^{れき}礫が混ざっているのが分かります。これは凝灰岩^{ぎようかいがん}と呼ばれ、大小の礫が火山灰などと一緒に固まってできたものです。夕日の滝の上流部でも同様の石が見られ、箱根火山の火山噴出物が固まってできた地層の一部が運ばれ、残されたものだと考えられます。

金太郎伝説は南足柄市だけでなく、静岡県小山市をはじめ全国各地にあります。

6-2 蛤沢周辺 ジオサイト Mi 4

ジオサイト Mi4「蛤沢周辺」の解説板が設置してあります。昔、この周辺でハマグリなどの化石が見つかり、蛤沢と呼ばれてきました。

江戸時代に書かれた「新編相模国風土記稿^{しんぺんさがみのくにふどきこう}」には、地藏堂の産品として「石蛤^{いしはまぐり}」の名で紹介されています。

このハマグリ化石は現在のハマグリと同種のものと言われています。

7 足柄層群の露頭

キャンプ場の駐車場の近くに、足柄層群の露頭がありますが、プレートの運動により隆起したことで、地層が垂直になっているのが分かります。

また、岩石が玉ねぎのように同心円状に風化していく「玉ねぎ状構造」が観察できます。

8 夕日の滝 ジオサイト Mi 3

ジオサイト Mi3「夕日の滝」酒匂川の支流、内川の上流部にかかる滝です。

● 滝の成り立ち

- ① 堆積岩である足柄層群の上に、箱根火山の溶岩や火山灰などが堆積しました。
- ② 夕日の滝断層が東西に走り、下流部である北側が隆起しました。
- ③ 下流部のやわらかい足柄層群が侵食され、滝が形成されました。

滝の向こう側が箱根火山堆積物（硬い）、手前側が足柄層群（やわらかい）です。

夏は水遊びなどの親子連れで賑わい、冬季には凍結し、多くのカメラマンが訪れます。

1月中旬の昼過ぎ頃に、滝口の上を太陽が通り過ぎ、あたかも夕日が滝に落ちたように見えます。また、金太郎が産湯をつかったという伝説が伝わります。

大雄山駅への帰路は、「地藏堂」バス停から箱根登山バス「関本」行きを利用できますが、運行本数が限られるため、事前に時刻表の確認をお願いします。

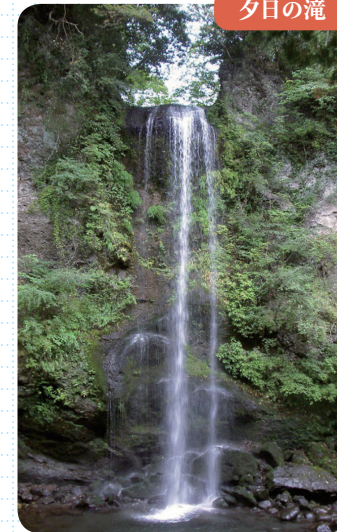
ちょっと寄り道 金太郎の力水

赤い橋を渡った左側、金太郎の歌碑の横にある水飲み場です。この水は夕日の滝近くの湧水を浄水したものです。

足柄層群の露頭



夕日の滝



文命堤



大雄山最乗寺



清左衛門地獄池



御嶽神社と矢佐芝石丁場



本コースに含まれない他のジオサイト

○文命堤 (Mi5)

この周辺の崖は、約6万6千年前に大噴火した箱根火山の火砕流が堆積した大地を、酒匂川が侵食したことでできました。また、川の氾濫を防ぐため周囲の崖に流れを当て、勢いを弱める構造になっています。

○最乗寺と杉林 (Mi6)

箱根外輪山である明神ヶ岳の中腹に立つ曹洞宗の名刹です。開山は庵慧明禅師であり、寺の造営に深く関わった道了は天狗となって寺を守っていると伝わっています。境内には約17万本もの杉が植林されています。

○清左衛門地獄池 (Mi7)

箱根外輪山を水源として、一日に1万3千トンもの湧水量を持つ泉です。

昔、この地を開いた加藤清左衛門が水源を探しに来た際に乗っていた馬もろとも穴に落ち、そこから泉が湧き出したという伝説からこの名前がつけました。

○御嶽神社と矢佐芝石丁場 (Mi8)

三竹の地名の由来になっている神社で、平安時代の建立と言われています。

鳥居杉とスダジイなどの社叢林は、貴重な常緑広葉樹林として県の天然記念物に指定されています。また周辺地域には江戸時代初期に小田原城などの石垣に使うため石を切り出した石丁場があります。

南足柄市郷土資料館

開館時間 9:00～16:30

神奈川県南足柄市広町 1544

電話 0465-73-4570

<http://www.city.minamiashigara.kanagawa.jp/kurashi/manabi/bunka/kyoudo/>



ガイドさんと
ジオ旅に
行こう!



✓ 時間が無くても安心!

おまかせください、ご希望の時間とリクエストに合わせて、いつもと違う(非日常)あなただけの実りあるジオサイトプランをご提案します。

✓ もっと知りたい!

あなたのまだ知らない「ところ・もの・こと」にきっと出会えます、わくわくしながら「いいね!」を一緒に見つけ、ふれあい・親しみ・楽しく学びましょう!

✓ 多彩なウォーキングコース

園児からご年配の方まで、季節ごとにあなたのお気に入りの居場所を探しながら、おいしい水と深呼吸を誘う自然豊かな足柄路をゆったり散策しましょう!



南足柄ジオガイドの会

〒250-0192 神奈川県南足柄市関本 440 (南足柄市役所内)

Tel: 0465 (73) 8001

<http://www.hakone-geopark.jp/area-guide/minamiashigara/>

箱根・小田原・真鶴・湯河原ガイド



箱根観光ガイド協会(箱根町観光協会内) Tel: 0460(85) 5443
自然公園財団箱根支部(箱根ボランティア解説員連絡会) Tel: 0460(84) 5720
NPO 法人 小田原ガイド協会 Tel: 0465(22) 8800
真鶴観光ボランティアガイド(真鶴町観光協会内) Tel: 0465(68) 2543
湯河原まちづくりボランティア協会(湯河原町役場内) Tel: 0465(63) 2111

南足柄
Minami
ashigara

立ち寄りスポット



※祭、イベントの開催は、
変更される場合があります。

1月 大雄山最乗寺初詣

2月 大雄山最乗寺豆まき
郷土資料館・
森のひなまつり

3月 春めき桜まつり

5月 金太郎ふじまつり
福沢神社祭礼

7月 夕日の滝びらき

8月 足柄金太郎まつり

9月 足柄峠笛まつり
酔芙蓉まつり

11月 ざる菊祭り

私たちは箱根ジオパークを応援しています！



地域のみなさまと 豊かな未来へ

私たちは、地元でがんばる人たちに

エールを送ります。

TRiBank Sagami
さがみ信用金庫



あしがら信和会
関本支店信和会

すよこつと都会な田舎
南足柄で暮らそう。

移住・定住促進
Cターンプロジェクト

SIMODA
GENERAL CONSTRUCTORS
Tel.0465-74-2136

最乗寺参拝の際にお立ち寄りください
道了尊 尊売店
南足柄市大雄町1153-5 TEL0465-74-0027(水曜休み)

伊豆箱根鉄道 伊豆箱根バス 大雄山線 小田原営業所

製作 南足柄ジオガイドの会
箱根ジオパーク推進協議会 2025
事務局 (箱根町企画課 ジオパーク推進室内)
TEL.0460-85-9560 <http://www.hakone-geopark.jp/>

ホームページはこちらから

箱根ジオパーク 検索



箱根ジオパークに関するアンケートのご協力をお願いします

